



財団法人栃木県国際交流協会  
Tochigi International Association



## TIAニュース

# やあ!

1995  
JULY  
No.38 7



写真提供：足利市民文化財団

### The Historical Remains of the Ashikaga School Encompassing the Confucian Temple and surrounding structures

The Ashikaga school was relocated from its original site in 1467. It is said to have had 3000 students, whose curriculum consisted of Confucianism, classical Chinese, sutras, fortune-telling, medicine, martial arts, and divination. The infamous Francisco Xavier wrote of this school that "in the Far East, so much more than in the Western lands, students gather like clouds."

In all of the Eiroku, Horeki, Tempo, and Bunkyu eras, the school was subject to destructive fires. In 1873, the remnants of the Confucian temple, school gate and nyutoku gate were refurbished and turned into the East Elementary School. The results of other excavations and repairs revealed a garden pond, the quarters of the supreme priest, the quarters of his family, a stone storehouse, a drawing room, a warehouse, and a wooden shed; these, along with the earthen constructs and moats offer reasonably clear evidence of the layout of the school many years ago. A comprehensive restoration effort was undertaken based upon these findings and completed in 1990.

There remains the cemetery of the successive headmasters and Imperial magistrates, a collection of archives protected as a national treasure, the Ashikaga School archival library, as well as jikoumatsu and kai trees.

### 市町村文化財紹介 足利市

#### 史跡 足利学校跡（聖廟及び附属建築物を含む）

足利学校は応仁元年（1467）に旧地から移し建てられた。学生数が3千人いたといわれ、講義内容は儒学の他、漢、經、易、医、兵学や占卜などであった。かのF・ザビエルは同学校について「坂東の大学には四方より攻学の徒、雲集す」と記している。

その後永禄、宝暦、天保、文久年中等に火災に遭ったが、その都度修理復興し、明治6年（1873）からは聖廟、学校門、入徳門等を残して東小学校になった。その地を調査した結果、園池、方丈、庫裡、書院、衆寮、木小屋、土蔵、そして土塁、堀など往年の学校の姿が概ね明らかになり、それに基づき復元整備事業を行い平成2年に完成した。

なお、聖廟裏には足利学校の歴代庠主（校長）と代官の墓地があり、また国宝の典籍等を保存する収蔵庫、足利学校遺跡図書館、字降松、楷樹などがある。



## 新設大学・学部紹介

国際医療福祉大学・宇都宮大学国際学部

- 国際交流学校訪問 真岡市立真岡西小学校
- ようこそとちぎへ 栃木県海外技術研修員
- あんな店こんな店 フランス料理 オーベルジュ・テ・マロニエ
- 国際交流団体紹介 グローバルグループ

## 新シリーズ

栃木県JET青年による JETコーナー

# 国際交流 学校訪問

## 真岡市立真岡西小学校

真岡市は外国人登録者数が県内市町村の中で4番目に多い。真岡工業団地で働く日系人がたくさんいるからだ。

真岡市立真岡西小学校（柳道春校長）には、現在外国人子女81名（二重国籍の児童を含める）が在校している。内訳はブラジル人47名、ペルーアン31名、ベトナム人3名である。一校でこれだけの外国人子女を受け入れているのは県内はもちろん全国でも珍しい。同校に集まる理由は工業団地の近くにあるという立地条件の他に、口コミでたくさんの日系人子弟が在校していることが伝わり親同士の連絡も母国語ができるということも上げられる。

国際教育係で日本語指導教室担当の大島芳治先生は、宇都宮大学に内地留学しポルトガル語を勉強した経験を活かし、外国人子女への語学指導や児童の国際理解教育に力を注いでいる。「日本語がまだよく理解できない外国人子女に、月～金曜の1、2時

間目にハロールームという教室で日本語の個人レッスンを行います。市内の会社に勤める日系ブラジル人の藤本さんに日本語指導助手として来てもらっています。藤本先生は日本語、ポルトガル語、スペイン語が堪能ですので児童たちは勉強の合間に母国語で会話をリラックスしているようです。」

日本語指導のために活用されているハロールームには各国の民芸品が展示されたり、漢字とポルトガル語・スペイン語訳の紙が貼ってある。また、廊下の壁はペルー、イギリス、アメリカ、韓国、中国等の各国紹介コーナーになっている。

「私たちが教える内容は1年生レベルが主でひらがな、ものの名前などです。図工、音楽、体育など比較的日本語を必要としない授業には最初から出席させています。日本語に慣れてくると普通クラスで勉強しますが、国語や算数等で追いつけない場合はここで補修授業を行います」と大島先生は



▶ 外国人子女に日本語を教え  
大島先生（写真右）



◀ ハロールームの外壁に飾られたペルー紹介

教育現場を語る。

外国人子女への日本語教育が進む一方、その父兄が日本語を理解できないため、先生からの連絡文書の内容がうまく伝わらないという問題点がある。また文化の違いから無断で欠席することや、遠足や修学旅行へ親が参加させないこともあるそうだ。

同校は児童への国際理解教育にも熱心に取り組んでいる。児童会活動のひとつに国際理解委員会を設け、新聞作り、外国の情報収集、困っている国への援助のための古切手収集、外国のお菓子作り等を行っている。他に、国際理解週間を設置し外国民芸品の展示や委員会の活動報告等を企画している。

平成6年度の学校課題として「国際感覚を身につけた心豊かな子どもの育成をめざして」というテーマで、道徳の授業等で学習指導してきた。国際化が進み外国人子女が増えしていくなか、異文化理解のための教育は今後とも続いているだろう。

## JETコーナー

### 外国語指導助手 エリック・ブラウンさん (30歳・アメリカ出身)



JETプログラムに参加している多くのALT（外国語指導助手）の人たちがそうであるように、僕が日本へ来るまでの道のりは、他の人たちよりもっとハードな道のりであったかもしれない。僕は今、河内教育事務所の机の前に座りながら、俳優として学生としていくらか回り道をしてしまった今までの人生一結局僕は宇都宮に来てしまったが一を振り返ってみようかと思っている。

この「JETコーナー」は栃木県のJET青年たちがつくるページ。第1回目は、ハリウッド映画に出演したことがあるというエリック・ブラウンさんが登場。

僕はニューヨークで過ごした子供時代を通してテレビのコマーシャルに出演し、またブロードウェイで上演されていた“On Golden Pond (黄金の池の上で)”に簡単な役で出ていた。後に僕は、今でも日本で好奇心をもって見られている映画「プライベート・レッスン」に出演した。そして17歳のときロサンゼルスへ移った。その最大の理由は、テレビのシリーズドラマに出演するためだが、そればかりではなく、俳優をやめたあとはテレビの裏方としてアシスタントディレクターや音響効果を行うためでもあった。

ハリウッドの魅力的な生活を捨て、おもしろくもない学生生活を送ることを決め、妻と僕はカリフォルニア大学のあるカリフォルニア州バークレーへと移った。大学を卒業したあと、僕はJETプログラムに参加し、そして去年の6月に栃木県へ派遣さ

れた。妻のジェニーン・ペイヴァーは去年の12月から芳賀中学校でJETプログラム外のALTとして働いている。詳しいわけを話すと長くなるし複雑だからここでは省略させていただくが、とにかく今年の夏から妻は今度は正式なJET青年としてプログラムに参加することになった。

今年僕は豊郷中、星が丘中、清原中で英語の指導助手として働いていて、さらに来年もJET青年として栃木県にいられることになったのでとてもうれしく思っている。

最近暇があると、上戸祭農園に出かけていっては自分の小さな野菜畑の面倒をみて、この夏にはトマトやズッキーニが大豊作となるのを楽しみにしている。

実は僕とジェニーンは今ワクワクしながら「あるもの」を待っているところだ。「あるもの」とは、僕たちが日本滞在中に得たものとともに素晴らしいおみやげ、そう、僕たちの最初の子どもが来年の1月に生まれるんだ！  
(原文は英語)

エリックさんが出演した映画「プライベート・レッスン」はレンタル・ビデオ店で借りられるので、興味のある方はどうぞ。

## ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

### ボリビア共和国



①ロベルト・エフライン・デル・バルコ  
エスコバル ②39・男 ③国際協力事業団 ④理科教育（理科教材の開発及び教授技術）⑤栃木県総合教育センター

### コスタリカ共和国



①ジオバニー・エルナンデス・ヒメネス  
②31・男 ③国際協力事業団 ④電子機器（電気・電子分野の実験及び修理技術）⑤宇都宮高等産業技術学校

### ホンジュラス共和国



①イバン・エドゥワルド・アレハンドロ・ピネダ・バジャダレス ②31・男 ③国際協力事業団 ④電話交換機の修理技術 ⑤NTT

### メキシコ合衆国



①関口清水アレハンドロ ②26・男 ③メキシコ日系人会 ④銀行業務一般 ⑤足利銀行

### 中華人民共和国



①包煥盛 ②33・男 ③浙江省人民政府 ④養蚕の飼育技術一般 ⑤栃木県蚕業センター

## 平成7年度栃木県海外技術研修員

6月7日、10カ国13名の海外技術研修員が来県した。1か月間の日本語研修を終えて、来年3月までの9か月間、それぞれの研修機関で日本の技術を学ぶ。また視察旅行等で伝統文化にもふれる。

この滞在が素晴らしい思い出となるよう期待したい。

①氏名②年齢・性別③推薦機関④研修科目⑤研修機関



▲みんなで一緒に朝・夕食をとる（日本語研修期間中）

### ネパール王国



①マヤ・シャー ②27・女 ③国際協力事業団 ④織物（手織及び毛染技術）⑤栃木県織維工場試験場

### インドネシア共和国



①タントリー・プロボラス ②34・女 ③国際協力事業団 ④家畜疾病診断（細菌病の診断及び食肉・乳の衛生検査）⑤栃木県家畜衛生研究所

### ザンビア共和国



①パトリック・チャーマ ②33・男 ③国際協力事業団 ④自動車整備（定期点検及び車両整備技術）⑤吉田自動車整備工場

### ブラジル連邦共和国



①永田エリ亞ス宣 ②28・男 ③在伯栃木県人会 ④電気設備（電気設備の設計及び管理）⑤㈱関電工

### ペルー共和国



①笹川静 ②24・女 ③ペルー栃木県人会 ④食品加工（食品の加工技術・調査研究）⑤食品工業指導所

### 中華人民共和国



①潘亞梁 ②39・男 ③浙江省人民政府腫瘍外科（腹部・胸部の臨床腫瘍外科）⑤栃木県立がんセンター

### 中華人民共和国



①華偉南 ②32・男 ③浙江省人民政府 ④水利管理・水力発電（河川の管理、水力発電事業）⑤栃木県土木部河川課

### 中華人民共和国



①倪憲漢 ②29・男 ③浙江省人民政府 ④水資源管理・水道給水（水資源管理技術・企画及び水供給事業）⑤鬼怒水道事務所

# 特 集

# 新設大学・学

平成7年4月、栃木県内に“国際”という名がつく大学及び学部が誕生した。全国初の医療福祉の総合大学「国際医療福祉大学」(大田原市)と宇都宮大学国際学部(宇都宮市)である。国際化の波のなか大きな期待を受けて産声を上げた同大学・学部を今回紹介する。

## 国際医療福祉大学

大田原市北金丸2600-1 ☎0287-22-4010

医療、保健、福祉の分野で高度な専門知識を持つ人材を育成する「国際医療福祉大学」は保健学部内に、看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚障害学科、放射線・情報科学科の5学科を有している。医療福祉の総合大学としては全国で初めてということでの、初年度の募集は全国から集まり、約10倍の競争倍率となった。この難関を突破した564名(平成7年6月15日現在)の学生が勉強に励んでいる。

「社会に開かれた大学」「人間中心の大学」「国際性を目指した大学」の3つの基本理念と、「人格形成」「専門性」「学際性」「情報科学技術」「国際性」「自由な発想」「新し

い大学運営」の7つの教育理念が、大学全体のコンセプトである。各学科が互いに交流しながら知識、技術を高め、医療プロフェッショナルとしてふさわしい能力と国際感覚を持った人間形成をはかっている。特に“国際性”では英語教育に力を入れ、単なる語学教育だけでなく生活や技術の国際交流を行う。そしていかなる人々とも共に仕事ができる真の国際人になることを求めている。

5学科の共通教育科目に国際系として「国際医療福祉論」「東南アジアの経済・社会・文化」「国際関係論」などがあり、国際情勢を学ぶのを始め、



▲放射線・情報科学科の学生たちが熱心に基盤化学実験を行う

### 留学生にインタビュー



日本に来て4年余りになる堤さん(写真右)は、ブラジル・サンパウロ出身。以前彼女の母親が心臓病で金沢の大学病院に入院し看病のため来日したことがきっかけとなった。彼女は元々ボランティア活動が好きで、准看護婦の専門学校卒業後、茨城県の病院に勤務していた時パンフレットが送られてきて、長年の夢だった正看護婦への道が開けると思い応募したという。一方、中国の天津出身の王

### 国際医療福祉大学看護学科1年 堤エリカさん(24歳・ブラジル出身)

麗華さん(写真左)は、平成2年にナースの研修生として1年日本に滞在したことがある。中国でも看護婦をしていた経歴の持ち主で、大宮の日本語学校で2年間学んだ後実習先の病院長の勧めで受験したという。ただ受験科目に英語の面接があったので大変だったらしい。

国際医療福祉大学で英語Iを担当している田中美子先生(写真中央)は、「国際的医療にも対応できるように、この大学では外国语、特に英語を重視しています。医療関係の専門用語はほとんど英語になっているので、学生たちの能力の向上に大いに役立っています」と話す。

将来の希望について堤さんは、「今世界ではアフリカ難民等の問題がとりざたされています。私もこういう人達を助けたい。貧しい国々の人々の役に立ちたいのです。物のない国でのケアや民間の治療法も同時に

### 王麗華さん(26歳・中国出身)

学んでいきたいと思っています。また母国ブラジルへ帰ってからも日本で学んだことを生かして、医療の発展のため全力を投じていきたいです」と海外における医療協力活動への意欲を示す。また王さんは、「将来は看護学校の先生になりたいんです。特に中国の地方の医療は遅れているので、高齢者の保護や医療技術等を高めたい。そのためにぜひ日本でも看護婦免許を取得して、中日両国の架け橋になれるよう頑張ります」と医療を通しての国際交流について明るく語る。

留学生たちが学んでいるおかげで、他の学生にもかなり強い影響を与えており欧米諸国以外の国々の医療に関心を持たせる原因にもなっている。彼女たちが目を輝かせて話す態度は、多くの日本人学生に失われかけている自信と活力に満ち溢れている。

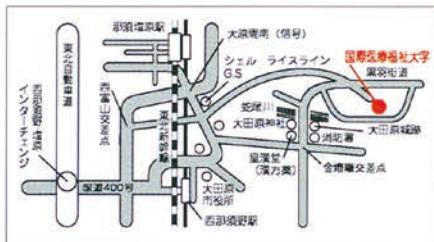
# 部紹介

## ◆ 国際医療福祉大学 宇都宮大学国際学部

器が、修理技術がないため放置されているような現状で、医療行為ができ医療機器の管理・開発能力もある新しいタイプの技師がもつ役割はとても重要だ。海外医療ボランティアのような医療協力事業を押し進めていくのもこれからの課題である。

現在外国人留学生は看護学科3名、放射線・情報科学科2名、理学療法学科1名の計6名である。アジアの保健医療のリーダー育成の場として、今後留学生の数は増加していくことだろう。

その他、パソコンを設置したセルフ・ラーニング・ルームでは情報化社会に対応するための教育を行っている。このような素晴らしい教育環境の中で21世紀の医療福祉を担う若者たちが育っていくのだ。



### 宇都宮大学国際学部

宇都宮市峰町350 ☎ 0286-49-5165

全国の国立大学で初めて宇都宮大学内に設立された「国際学部」は県民が待望していた人文社会系学部である。“国際化”的時代にふさわしい学部が誕生したこと、栃木県はもちろん全国から注目されている。

設立の主旨は、環境問題、人口の増加、貧困と飢餓、民族間地域間の対立などの世界的な問題に対し積極的に解決に当たることができる人材を養成することである。新



► LSI教室を使って英語の授業を受ける国際学部の学生たち

### 学生にインタビュー

栃木県立佐野高等学校からただ一人国際学部国際文化学科に合格した伊勢孝和さんは、高校



3年の夏に宇都宮大学に国際学部ができるということを受験雑誌で知ったそうだ。「それまでは外国語学部で東アジア系の言葉を勉強するつもりでしたが、この国際学部は他の大学ではなく、新しくて変わった内容なので、ここなら学びたいものがあるのではないかと思って受験しました。国際学は今までの学問や知識の枠にとらわれない斬新な教育研究分野なので、自分もこのようなことを研究して国際人の一員として役に立ちたいと思っています」と語る。

彼が東アジアに興味をもったのは、小学生の頃。父親の勤める会社に中国人が来て中国語に接してからだ。中学生になると在日韓国人の問題がマスコミ等で取

しい学問である「国際学 (International Studies)」の発展・体系化をめざして、多彩な授業科目を開講し、徹底した教育指導・専門教育を行う。

国際学部には2つの学科がある。まず“国際社会学科”では、国際社会における様々な問題を理解しその解決に貢献できるよう、諸国家・諸地域の社会現象の分析方法を学ぶ。授業内容は情報、環境、各地域研究、

社会・人間、国際政治・経済・法律等である。一方“国際文化学科”では、人文科学の基礎理論と比較文化的研究方法をもとに、多様な文化の様相と異なる文化間の交流について学ぶ。授業内容は各地域文化研究、芸術、言語・コミュニケーション、思想・歴史等である。

専門教育の特色として

宇都宮大学国際学部国際文化学科1年  
伊勢孝和さん (19歳・佐野市出身)

り上げられ、朝鮮・韓国等への興味もわいたという。

入学前に描いていたイメージとは少し違うそうだが、国際学部ならではの科目が履修できるので入学時から授業選択に真剣だ。彼の現在取っている講義は、初期セミナーの「朝鮮古典地誌」、教養教育科目では「国際政治学入門」また第二外国語として「中国語」などである。専門科目については後期より「アジア文化研究」及び「比較文化研究」を勉強する予定だ。選択科目を見ると伊勢さんの東アジアへの思い入れが感じられる。

「将来国連職員のような国際公務員になりたいので、それに対応した科目（法律文化論）や教職課程もとる予定です。また大学院で更に進んだ勉強もしたいと考えています」と意欲満々に話す。

この他、チーターとして韓国からの留学生と交流したり、クラス委員を務め夏期合宿研修や自主企画活動等の意見のまとめ役として頑張っている。そんなバイタリティ溢れる彼にエールを贈りたい。

充実した実践的外国语教育があげられる。会話能力を養うために集中合宿による「Intensive Training (集中訓練)」を行ったり、L L教室を利用したマルチメディア方式による授業を実施する他、電子メールによって外国の学生と意見交換を行う。また最先端の情報処理教育では、情報処理基礎・社会情報論・文化情報論等を学ぶ。

現在117名の学生が同学部で勉強しているが、その中には社会人枠で入学した5名や外国人留学生6名が含まれている。卒業後は国際人として世界中で、そして様々な分野で活躍が期待されるだろう。



## 国際交流団体紹介

### グローバル・グループ

1991年1月の発足以来、鹿沼市や近郊に住む外国人の支援や彼らとの異文化交流を主体に活動しています。具体的には、生活ガイドブックの発行、病院の紹介や付き添い、ビザ申請の相談、日本語指導などです。今年で3年目を迎える「外国人のための文化講座」は、伝統行事や文化施設をご案内して自分たちの居住地域を一人の市民としてとらえていただく趣旨のもとに、年に7回実施しております（詳しくはTIAニュース・やあ！P7参照）。

講座の事前研修は、会員相互の親睦や郷土理解、人権尊重につながります。その結果、外国の方々と心から交流ができるのではないかと思います。

約20名の会員で広報、募集、研修、実践

を行っております。市内の外国人登録者も設立当初200名でしたが、1995年4月には700名を越え、ブラジルやペルーなど南米系が半数を占める中で、広報活動や円滑なコミュニケーションのためにも英語以外の外国語の学習の必要性と外国人に対する体系的な日本語学習の場の設定を痛感しています。（文：山本和子〒322 鹿沼市上石川1362-6☎0289-76-3393）



▲「外国人のための文化講座」で鹿沼市の「木のふるさと伝統工芸館」を案内

## 知ってて得する なんでもQ&A

### [外国籍の父母から日本で子供が生まれたら？]

Q. 私の夫はブラジル人で、私も日系2世なので国籍はブラジルです。日本で子供を出産することになりました。生まれたときの手続きについて教えてください。

A. まず、出生した日から14日以内に、所在地の市町村役場に医師や助産婦などの出生証明書をもって、出生の届出をします。

次に、在日ブラジル大使館（子供の国籍の属する国の駐日大使館等）に出生の届出を行い、パスポートを発給してもらいます。

その後、出生した日から30日以内に、地方入国管理局・支局・出張所（宇都宮に東京入国管理局の出張所がある）で、在留資格の取得申請を行います。その時には、出生したことを証明する文書（医師または助産婦の出生証明書、出生届出受理証明書、母子手帳など）と父母のパスポートまたは外国人登録証明書か登録済証明書を持参ください。

最後に、出生した日から60日以内に所在地の市町村役場で新規登録の手続きをします。申請には、外国人登録申請書、パスポート（在留資格取得の証印があるもの）および出生した事実を証明する文書（同一市町村に出生届が出されていれば不要）が必要です。

## 外国料理＆食料品 あんな店こんな店

### フランス料理

### オーベルジュ・デ・マロニエ

宇都宮市の大通りから県庁方向へ進むと瀟洒な建物の栃木県総合文化センターが、目の前に飛び込んでくる。この建物の2Fにあるのが、オーベルジュ・デ・マロニエである。落ちついた雰囲気の広い店内は天井が高く、壁に飾られたオブジェが洗練された都会的イメージを彷彿させる。またガラス窓を通して見える美しいマロニエ並木が私たちの目を休ませてくれる。



▲店内からマロニエ並木が眺められる

オーナーの音羽さんは、フランス料理界のダ・ヴィンチと称されたアラン・シャベル氏に初めて認められた外国人。厳選された食材を使った料理はまさにアラン・シャベル氏の料理哲学を見事なまでに踏襲したもので、栃木県という場所柄、県内の豊富な特産品を料理に取り入れ、月替わり「栃の郷メニュー」（¥3,000）として、毎月違った風味で私たちを喜ばせてくれる。これも音羽さんならではのヌーベル・キュイジーヌであり、地域の文化を広げ、食文化を育て、人との交流の場を作りたいという願いから生まれたアイデアだ。ここで7月の「栃の郷メニュー」をちょっと紹介。栃木産のトマトを使ったガスパチョ（冷製スープ）、フォワグラのいんげんサラダ、鯛と海老の蒸し煮、仔羊のショルダーロティ（香草風味）、デザートはダークチェリーのクレープとグルメを納得させる内容だ。

その他のメニューにも工夫が凝らされており、世界の珍味と和の素材をミックスさせたアルティザンメニュー（¥6,000）、四季折々の味が楽しめる季節替わりのメニューのプロバンスメニュー（¥4,000）、そしてシェフが自ら珍しい素材や新しい味の創造にトライしたシェフの創作料理メニュー（¥8,000）がある。また数種類のランチメニューも用意されており、特に“本日のランチ”は日替わりメニューで値段も¥1,500（税・サービス料込み）とリーズナ



洗練されたスタッフがサービス

ブル。こちらはたまにぶらっと立ち寄ってランチを食べたいなあという人にお勧めのメニューだ。また80人（立食で100人）程度のウェディング・パンケットやパーティー会場としても利用できる。

▷営業時間=ランチ11:30～14:00 ディナー17:00～20:00（オーダーストップ） ▷年中無休  
▷住所=宇都宮市本町1-8（栃木県総合文化センター内） ▷電話=0286-43-3161

☆アメリカの公立高校への留学

ミネソタ州レッドレークフォールズ町立ラフィエット高校のグローバル・スタディズ・インスティテュートは留学生を募集している。世界各国から集まった留学生が生活環境の整備された寮に住み、ラフィエット高校に通う。

▷資格=14歳~18歳、タバコとアルコールと麻薬を使わない人、基礎的な英語力があること、アメリカの学校の成績で平均2.6を取ること(最高4.0) ▷授業期間=9月から5月まで ▷費用=年間6,875U.S.ドル(1995年度) ▷費用内訳=寮の部屋代、食費、シーツ代、空港出迎え料、ラフィエット高校学校活動券、寮の敷金、TOEFL試験、プログラム作成費等、健康保険料等(授業料は無料) ▷連絡先=日本支部担当・山本 0289-76-3393

☆TILLが栃木県・外国人のための協力医療機関リストを発行

外国人の医療問題に取り組んでいる民間ボランティア団体「栃木インターナショナル・ライフライン(TILL)」は、外国语のできる医師や病院を掲載した「栃木県・外国人のための協力医療機関リスト」を発刊した。

内容は言語別(英語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ハングル語等10カ国以上の言語)と診療科目別(内科、外科、小児科、産婦人科他)になっていて、病院名、担当医師名、住所、電話番号、診療時間が記されている。また各医療機関の地図も掲載されている。

希望者には実費(500円)で販売している。詳しくはTILL事務局(0286-39-8044)へどうぞ。

ート・フェスティバル実行委員会事務局  
03-3541-9130

## TIA日誌

1995年6月1日~1995年7月31日

- 6/1 市町国際交流協会連絡会議、国際交流団体連絡会議(プラザインくろかみ)
- 6/7 栃木県海外技術研修員入国
- 6/8 栃木県海外技術研修員TIA表敬訪問
- 6/18 青年海外協力隊春募集一次試験(宇都宮市)
- 6/20 日本国際連合協会関東ブロック会議(藤原町)
- 6/24 県費留学生・栃木県海外技術研修員合同歓迎会(栃木県海外移住家族会・栃木県青年海外協力隊OB会主催)(宇都宮市)
- 6/27 栃木県海外技術研修員知事表敬訪問
- 6/30 青年海外協力隊平成7年度第一次隊TIA表敬訪問
- 7/2 国連英検第一次試験
- 7/7 栃木県海外技術研修員研修機関配属
- 7/下 とちぎインターナショナル・フェスティバル運営委員会(自治会館)

TIA第16回理事会・第14回評議委員会における承認事項

- ①平成6年度財団法人栃木県国際交流協会事業報告について
- ②平成6年度財団法人栃木県国際交流協会収支決算について
- ③財団法人栃木県国際交流協会副会長の委嘱同意について



## デパート共通商品券

### 全国で使えるJTBの「ナイスショップ」。

全国のデパートで自由にお好きなものを、選んでいただけるJTBのデパート共通商品券「ナイスショップ」。旅のJTBは全国に約1,200店もあるのでちょっと思いついた時、どこでも気軽に求めいただけます。すぐ近くで買って、だれにでも贈れる「ナイスショップ」。便利で、みんなにうれしいお中元です。

●500円券 ●1,000円券 ●5,000円券の3種類

JTB宇都宮支店 0286(22)1803

宇都宮市馬場通り1-1-8

お見事、旅を楽しくする頼もしい味方!  
孫悟空がしっかりエスコートします。

トラベラーズチェック<sup>米ドル・円</sup>  
安心で簡単。再発行もスピーディ

ホリデイ<sup>トラベル</sup>カード  
1週間でスピード発行

海外旅行傷害保険  
万一に備えて、心強い味方

海外旅行のおみやげ  
日本で予約、手ぶらで帰国



人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

宇都宮支店 0286-33-2151

宇都宮市池上町2-2(中村第一ビル1F)

# TIA Information Corner

## ☆第II期日本語講座開講

▷対象=在県外国人 ▷期間=平成7年8月2日～11月15日（毎週水曜日）午後6時～8時 ▷場所=TIA3階研修室 ▷定員=20名 ▷受講料=無料（ただしテキスト代は実費）▷申込み=TIA日本語講座係☎0286-21-0777

## ☆国連創設50周年記念品

国連は創設50周年（1995年）を契機に、各種行事を行う。この行事に先がけて「50周年記念品」を作製し販売する。

▷国連憲章（和英対訳）=500円 ▷純金製ペンダントヘッド=20,000円 ▷バッジ=500円 ▷タイピン=1,300円 ▷テレホンカード（50度数）=800円 ▷純金製メダル=200,000円 ▷純銀製メダル=7,000円 ▷マグカップ（ピカソの鳩）=2,000円（民族衣装の子どもたち）=800円 ▷問い合わせ=TIA☎0286-21-0777

## ☆TIAインフォメーションボードで情報交換

TIAでは、“インフォメーションボード”を設置し、県民と外国人の情報交換に役立てている。伝えたい情報（売ります、買います、教えます、仲間募集等）を所定のカードに書き込むだけでOK。無料でボードに掲示する。

利用希望の方はTIA事務所までどうぞ。

## ☆国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト

本年の「国連創設50周年」「国際寛容年」の意義を取り上げ、作文を通して、平和、安全、人権、環境などに関して国際理解・

国際協力の必要性を強調する「第35回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」栃木県大会が、日本国際連合協会栃木県本部他の主催で実施される。

▷原稿制限=400字詰め原稿用紙3枚以内

（原稿には、氏名・住所・学校名・学年を明記すること）▷内容=題は自由。内容は上記の趣旨に従いテーマを「国連と平和」

「国連の将来」などとし、学校、家庭、社会などにおける作者の研究や体験に基づいて述べたもの ▷募集期間=平成7年7月20日～8月25日 ▷送付先=〒320 宇都宮市昭和1-2-16財団法人栃木県国際交流協会内日本国際連合協会栃木県本部 ▷発表=平成7年9月上旬・最優秀賞他（入賞作品を全国大会に推薦する）

## ☆Second Semester Japanese Language Lectures Registration

Participants : prefectoral foreign residents

Term : August 2 until November 15 ;  
every Wednesday from 6:00 to  
8:00 pm

Location : The third floor of the TIA  
Maximum Enrollment : 20 students

Fee : Tuition is free, but students  
must purchase the textbook

Please call the TIA at (0286) 21-0777  
to enroll

## ☆The TIA Information Board

There is an Information Board located in the TIA which is very useful for sharing information between prefectoral citizens and foreign residents.

Simply fill out a posting card with the information which you want to communicate (things for sale, things needed, teaching, looking for friends).

Interested parties are encouraged to contact the TIA.

## ☆The Founding of the UN

The United Nations is undertaking a variety of activities on the occasion of the fiftieth anniversary of its founding. Among these, the United Nations has produced 50th Anniversary Memorabilia which it is offering for sale.

\* The United Nations Charter (in both English and Japanese)-500yen

\* Solid Gold Pendant Head-20,000yen

\* Badge-500yen

\* Tie Pin-1,300yen

\* Telephone Card (50 units)-800yen

\* Solid Gold Medal-200,000yen

\* Polid Silver Medal-7,000yen

\* Coffee Mug (decorated with a Picasso)-2,000yen

\* Coffee Mug (decorated with costumed children)-800yen

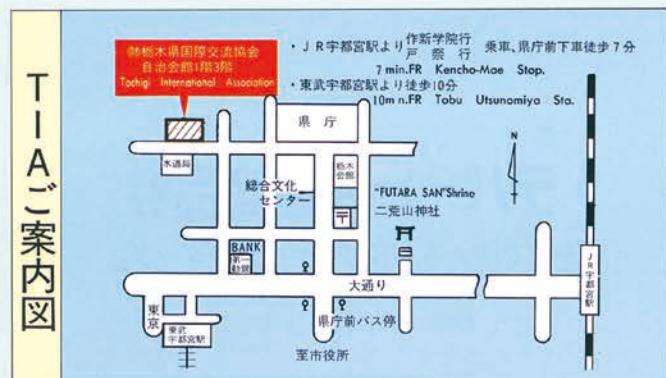
## ●TIA賛助会員募集！

賛助会員は、年会費・個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。特典として指定店での割引等やTIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。

○6月7日、成田空港に13名の技術研修員を出迎えに行った。その中のひとり、中米の某国から来たIさんは、飛行機が着いてもなかなか出でこない。どうやらその飛行機に乗っていないかったらしい。一体彼はどうしてしまったのか？と心配して調べてみると、なんと乗り継ぎ地のマイアミで乗り遅れたため、別の航空会社の飛行機に乗って日本に向かっていることが判明した。それから待つこと2時間、Iさんはケロッとした顔で到着ロビーについてその姿を現したのであった。

○国際医療福祉大学で2名の留学生をインタビューした。勉強と将来の目標についてしっかりとした信念を持つ彼女たちは、日本の学生が裕福に何の危機感もなく過ごしている現状をちらりと批判する。取材している我々は自分たちの学生時代を思い出し、少し恥ずかしかった。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特例措置）の認定を受けました。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまのご出捐をお願いしております。



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会

住所 〒320 宇都宮市昭和1-2-16栃木県自治会館1階

T E L 0286-21-0777 (代表) 0286-27-3399 (相談専用電話)

F A X 0286-21-0951

業務時間 8:30～17:15土曜・日曜・祝祭日・年末年始は休業